

2018

寺戸大牧敬老の日大作戦



立命館大学 坪井・上田・小島

【作成協力】 寺戸大牧自治会

向日市社会福祉協議会

この企画のパンフレット

あつまれ！

大牧チルドレン

「大牧敬老の日大作戦」

～子どもたちの笑顔添えて～

日時: 9月15日(土) 15時～

集合場所: 大牧自治会館

内容:

高齢者の方々への日頃の感謝を子どもたちと一緒に伝えに行きます。頑張ってくれた子たちには、ジュースやお菓子を用意します。
親子で来てくれたら嬉しいです!!

coming soon..

たくさんの「大牧チルドレン」が集まってくれました!

【企画の趣旨】

私たち立命館大学の学生は「地域の今を学び、その価値を知り、地域を創る学習を通して、これから必要とされる地域の形を創造して、次世代に地域づくりのバトンをつなげていく。」を目標に向日市社会福祉協議会の木下さんにお力をいただき、寺戸大牧自治会で勉強をするインターンシップで8月から大牧自治会の役員の方や地域の方とお話や、夏祭りに参加する中で、私たちなりの答えを見つけました。これまでの地域は、大人が子どもを見守っている「大人から子ども」という一方向のあり方でしたが、「今の時代」そして「これからの時代」に地域のバトンをつなげるためには、「大人から子ども」だけでなく「子どもから大人」という双方向の関係が必要であると考えました。そこで、夏祭りを大人の方々が頑張ってくださったお返しに、子どもたちから大人の方々への関係の第一歩としての企画を考えました。

それが、「**集まれ大牧チルドレン！大牧敬老の日大作戦**」です。

大牧では毎年敬老の日に自治会から75歳以上の方にプレゼントが組長さんから配られます。その役割を、子供たちにやってもらうことで、普段は触れ合う機会のない地域の方々が関わり、地域をより深く知ることができるという趣旨のもと企画しました。

【企画の様子】



まずは、プレゼントと一緒に渡してもらう折り紙にシールを貼ったりして、オリジナルの折り紙を作ってもらいました！
飛び入りで参加してくれた子たちもいて、大盛り上がりでした！

折り紙を作った後、班分けで1～5班に分かれてもらったら

いざ、**出発～！**

1班

班長：うえだ





2班



班長:こじま



↑子供たちが渡してくれました





3班



班長：つぼい





4班 班長：中山さん





5班

班長:佐々木会長



←←←

お家の中まで
入れて頂きました！



**全5班
任務完了!!**

任務の後は、「**お疲れ様パーティー!**」



お菓子やジュースで
乾杯~!



←
佐々木会長から
「こども会」について
のお話

立命館インターン生の感想

文学部 坪井さん



まず受け取っていただいた方々に喜んでいただけてよかったです。ご在宅していただいた方、このイベントに参加していただいた子どもたち、保護者の方、そして自治会の方々、協力していただいてありがとうございました。敬老の日にこのようなステキな取り組みがあることに初めて話を聞いた時は驚きました。高齢の方と子どもたちの関わりだけでなく保護者の方も含め3世代での交流ができてよかったですと思います。訪問してくれる子ども達のためにお菓子を用意してくれていた、大きくなったねと成長を見守ってくれていたと、この地域の良さを感じることができました。ありがとうございました。

情報理工学部 上田さん



大牧敬老の日大作戦を通じて、多くの人達と関わることができて、とても楽しかったです。高齢者の方、子供たち、保護者の方の交流の場を作ることに携われてとても良い経験になりました。大牧は自分の住んでいる地域とは比べ物にならないくらい、パワフルで愛に溢れた地域で、地域の横のつながりの大切さを改めて感じるすることができました。ありがとうございました。

法学部 小島さん



8月からこの大牧自治会にお邪魔させていただき、自分の地元の町と比較しながら、今回の課題である「これから必要とされる地域の形」を発見するためにたくさん勉強させていただきました。そして、今回の企画でこれまでの「大人から子供」という一方向の地域のあり方ではなく、「大人から子供、子供から大人」という双方向の地域のあり方を見つけることができました。短い間でしたが、私たちの活動が大牧のこれからにつながることを願っています。ありがとうございました。

大牧千ルドレン



最高～!